

連続企画

地域のための気候変動対策・自然再興とは？

小型風力発電をめぐる課題と自治体の対応

参加費
無料

オンライン

日時 2024.5.24 (金) 15:00～16:30

対象 脱炭素、再生可能エネルギー、
自然環境・景観保全等に関心のある方
どなたでも

定員 250名 (要申込)



申込フォーム



講師 藤井 康平さん
(北星学園大学経済学部経済学科専任講師)

「2050年ゼロカーボン」の国家目標の下、再生可能エネルギー潜在量が国内最大の北海道はエネルギー基地としての役割が期待され、風力発電や太陽光発電などの施設設置が拡大し続けています。これにともない、特に大規模なプロジェクトによる自然環境や景観などへの影響が懸念され、近年は立地への反対運動やトラブルも頻繁に報道されるようになってきています。

一方、出力20kW未満の小型風力発電については、環境アセスメントの対象外であることもあってあまり話題となりませんが、資源エネルギー庁によれば北海道では2023年9月末時点で日本海側を中心に全国最多の766件が導入されており、立地地域では様々な課題が生じています。

そこでこの企画では、あまり知られていない小型風力発電の設置状況や課題等について、専門家からお聞きします。

道内自治体による条例・ガイドラインによる対応やその効果等についてもわかる範囲でお話しいただきますので、自治体担当者の皆さまも是非ご参加ください。

主催・問い合わせ

環境省北海道環境パートナーシップオフィス (EPO北海道)

☎ 011-596-0921

✉ epoh-webadmin@epohok.jp

担当：福田・久保田